

<金沢病院理念>

患者様、ご家族がいつも安心して利用することができる病院を目指します。

副院長挨拶

おかげさまで愛和会金沢病院は9月9日をもちまして法人化60周年を迎えることとなりました。人生でいえば60歳は還暦に当たります。人生における再出発にあたるが如く、病院組織としても、病院の基本理念である「地域に密着した患者様のための病院」を目指し、今後の方向性を見極め、舵取りしていかねばならないと考えます。ではこの病院理念において、神戸市灘区における金沢病院の立ち位置は何か、つまり病院としてできること、あるいはなすべきことは如何なることでしょうか。

地域における住民特性を考えてみますと、神戸市の東部に位置し、学生を含む青年層のベットタウン化による増加と、高齢化社会における独居、要介護者の増加という二峰性の人口分布を呈していると考えられます。従ってこのような特性のもとで医療における課題となるのは当然の如く、急性期疾患への対応と、慢性期疾患増悪時の対応、及びこれらを在宅生活にいかにつなげていくかという点にあると考えられます。

幸いなことにこの地域には、急性期疾患については、24時間対応可能な3次救急病院が、中央市民病院、神戸日赤（災害医療センター）、神戸大学病院など、救急搬送可能域内に多数あるという恵まれた環境下にあると言えます。しかしながら、1次救急に近い症例の対応までしていただいている状態であり、その特性を発揮するためには、現在の過負荷を軽減し、スタッフの疲弊を防ぐ必要があると考えられます。最近においては、地域連携クリニカルパス作成や、亜急性病床数の増加などにより、改善傾向にあると考えられますが、慢性化した症例の対応においては医療経済的にも厳しい状況にあると考えられます。

さて現在の金沢病院は一般病床60床、療養病床120床の病院であり、2次救急輪番の整形、外科、内科に参加させていただいており、急性期あるいは高齢者慢性疾患の増悪期症例への対応、亜急性期以降の在宅あるいは施設復帰までの回復期における対応と、広範囲で多角的な対応が必要とされる医療機関であると考えられます。現在病院自体の特殊性としては、胃瘻や経鼻胃管による経腸栄養を必要とする約100名の患者様を入院管理させていただいておりますが、一方では看護部の基本理念である身体拘束の廃止に向け、看護および介護スタッフが日々研鑽している状況にあります。今後は他の医療機関とタイアップし、それぞれの特殊性を生かし、在宅医療の充実など、灘区あるいは東神戸エリアにおいて患者様が安心して医療を受けることができるネットワーク作りが目標になると考えられます。病院スタッフ一人一人が地域における金沢病院の役割を十分に理解し、常に前向きな姿勢で努力し、患者様一人一人の状況に対応できる、いわゆる「オーダーメイド医療」を目指すことを結語といたします。

医療法人愛和会
金沢病院 副院長
内科医師
高田 耕二



主な記事

- ・副院長挨拶 1
- ・季節のレシピー、たまらなく眠い話 2
- ・薬局・病棟だより 3
- ・内科第二診察室より 4
- ・検査室から、病院トピックス等 5
- ・金沢病院案内 6

【金沢病院基本方針】

1. 患者様をいつも第一に考え温かく真心を込めて接します。
2. 地域と密着し、質の高い、より良い医療を継続して提供します。
3. 向上心と誇りを持ち、互いに敬愛して努められる職場を作ります。

季節のレシピ ～炊飯器で作るサムゲタン(参鶏湯)～

体がポカポカ温まる腹持ちの良い具沢山スープです寒い時期にお勧め！！



●材料（1人分）

鶏胸肉	大2枚（550g）
もち米	米用カップ1/3
にんじん	小1本（40g）（短冊切りにしておく）
ごぼう	細め20cm（短冊切りにしておく）
むき栗	2こ
ニンニク	2片
干しいたけ	4～6枚（スライス）
ねぎ	6cm

●煮込み材料（1人分）

水	3カップ
酒	1/2カップ
しょうが	親指の先ぐらい
塩	小さじ1/2

●作り方

- ①鶏胸肉にナイフを差し込み、切り進んで袋状にする。
- ②開いた穴に具をつめる。（ニンニク、栗、もち米、ごぼう、にんじん、しいたけ、ねぎ）
- ③ようじで止める。
- ④炊飯器の内釜に鶏肉、生姜、水、酒、塩を入れて、おかゆ炊き又は普通炊きで炊く
- ⑤炊けたら具を盛り付けて、黒ゴマ、塩、こしょうで味を整える。

たまらなく眠い話

睡眠時無呼吸症候群って世間でも有名になりましたよね。

職業病ではありませんよ。たまたま、この病気があった運転手の方が事故を起こして話題になっただけです。実は、デスクワークの方や退屈な会議ばかりの方の中にも患者さんがいらっしゃるんです。

特徴的な症状は、常に眠気があること（病気のせいでぐっすり眠れないんですね）、いびきがあまりにひどすぎて、一緒には眠れないと家族から言われること、寝てから息をしてない時があること…。思い当たる方は、検査をお奨めいたします。

ご自宅で簡単に出来る検査なので、治療が必要なのか、放っておいてもいいのかの判断をすれば良いと思います。

放置したらどうなるのか、お知りになりたいですよ。

酸素の供給がうまくいかないため、心臓や肺の病気になってしまうこともあるんです。

もちろん、運転や危険作業のお仕事の方は、事故のリスクがうんとあがります。

これを読んで、”えっそうなの！”と思われた方は、外来受診時にぜひご相談ください。

太ってなくても、睡眠時無呼吸症候群は潜んでいます。（終）



内科第二診察室より「いらぬお世話」

ある午後の医局。「どや顔」のA医師。手には秋の定期健診の血液検査データ。

「総コレステロール：180mg/dl、LDL：96mg/dl、中性脂：135mg/dl」

B医師の目の前に突きつけ言い放つ。

「はよう定期健診の採血しときや！。人の血見るのは平気なくせに、自分のこととなったらからっきしダメ。自分の血見るのいやとか、注射が痛いとか逃げ回らせずに。どうせ中性脂肪なんかごっつ増えとんと違うん？最近パパになってイクメン（注1）してるけど、腹なんか臨月やで。」

すかさず言い返すB医師

「お前に言われとうないわ。BMIがアラフォー（注2）のくせして（*正確には38.6です：著者注）。どうせ薬飲みまくって正常値にしてるだけやろ。薬の副作用で体壊すで」

A医師反論

「コレステロールも中性脂肪も高くて動脈硬化進行するのと、薬の副作用で調子悪くなるのとどちらが予後不良やと思うん？（予後不良：病気などが回復不可能、致命的となること：著者注）」

B医師（心の中で）

「最近イクメンしてるから、腰は痛いけど、散歩もしてるし、前みたいに酒浸りの毎日じゃないし煙草もやめたし、いらぬお世話や。」

B医師、数日後に診察室のベットに押し倒され心電図と採血の強制執行を受けることは知る由もなし。

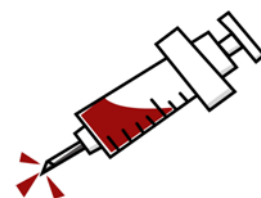
さて、いらぬお世話といえ、以前は患者さんのため常識と考えられたことがかえってためににならないことが多々あります。例え

ば感染性腸炎（冬場にはやりのノロウイルスとかが有名ですが）の下痢。増殖したウイルスなどを体が外に出すために、下痢をして頑張っているのに、下痢止めを使うのはいらぬお世話。また、例えばインフルエンザなどの感染の時の熱。せっかく体が炎症反応をおこしてウイルスをやっつけようとしているのに消炎剤（*炎症を抑制する薬）を使って熱を下げる。免疫力を低下させ、かえって病気を長引かせることとなります。どちらも以前は下痢で苦しんでいるから下痢を止めたり、熱を出しているから熱を下げて患者さんを楽にするため当然！と考えられていたことですが、いらぬお世話ということとなります。

では我々の役目はなんでしょうか？下痢や嘔吐あるいは熱発して食べられなかった時に脱水にならなように点滴したり、肝臓や腎臓などのダメージを早期に発見し軽減する。つまり患者さんが自力で改善するのをいかにお手伝いできるかにかかると考えます。

点滴や血液検査ばかりで、下痢止めもくれず、解熱剤もくれず、「儲けばかり考えて、患者が楽になることを全然考えないやぶ医者」なんて言わないでくださいね。

副院長
高田 耕二



（注1）イクメン・・・

育児に積極的に参加する男性

（注2）アラフォー・・・40歳前後の人



検査室から



インフルエンザの季節がやってきました。
新型インフルエンザが流行してから、積極的に予防接種をうけられる方が増え以前のような重症患者さんが来られることは少なくなりましたが、学校での流行時は、やはり感染者は続出いたします。
感染診断の検査は、とても簡単です。
鼻の穴から奥に綿棒状の細いブラシを入れて軽くぬぐい、検査材料とします。それを使い診断用検査試薬で反応を観察し、8分で判定します。当院には小児科がございませんので、外来受診の待合いで感染する確率も低く安心してお待ちいただけます。



病院の新しい取り組み



金沢病院の広報が、一部の担当職員から、全職種スタッフで構成されるプロジェクトチーム（わかりやすくいうと広報委員会ですね）に、主導権が移りました。
これを機会に、広報誌は健康の瓦版として『だれにでもわかる病気やその予防の話』、『地域活動のお知らせ』『季節のレシピ』『リハビリや薬のお話』などなど…。
もっと皆さんに金沢病院を身近に感じて頂けるものに、変わっていきたい！
まだまだ試行錯誤の状態ですが、今後も“かなざわ通信”をかわいがって下さい。

診療科目

内科、胃腸科、循環器科、外科、整形外科、脳神経外科、放射線科、眼科、心療内科、リハビリテーション科
(人間ドック、健康診断)

診療案内

受付・診療時間

- 平日 09:00～13:00
14:00～17:15
 - 土曜日 09:00～13:00
- ※受付は、診療終了時間の
15分前までとなっております

休診日

- 日曜、祝祭日 および
年末年始(12月30日～1月3日)

交通のご案内

電車

- JR「六甲道」駅より徒歩10分
- 阪急「王子公園」駅・「六甲」駅より
徒歩10分
- 阪神「大石」駅より徒歩10分

バス

- JR・阪急・阪神「三宮」駅より、石屋川車庫前行90、92系統乗車 約20分「將軍通」バス停下車すぐ



病院住所

医療法人 愛和会 金沢病院

〒657-0057 神戸市灘区神ノ木通 4丁目2番15号

TEL : (078)871-9001～4

FAX : (078)871-2993

ホームページ : <http://www.kanazawa-hospital.jp/>

関連施設

- 通所介護デイサービスセンターかなざわ TEL : (078)871-9076 FAX : (078)805-0234
 - 篠原あんしんすこやかセンター TEL : (078)871-9015 FAX : (078)871-9100
 - 指定居宅介護支援事業所かなざわ TEL : (078)871-9016 FAX : (078)805-0250
- 〒657-0057 神戸市灘区神ノ木通 3丁目6番18号

JR・阪急・阪神 交通アクセスに便利 (さんちかから直通)

婦人科検診・人間ドック・各種健康診断

◆内装をリニューアルし、女性待合室を新たに設けました◆

医療法人 愛和会 金沢クリニック

〒650-0001 神戸市中央区加納町 6丁目6番1号 金沢三宮ビル 10・11階

TEL : (078)331-0743 健診直通 (078)332-4755

FAX : (078)331-0745

ホームページ : <http://www.kanazawaclinic.jp/>

